

草加市立栄中学校の改築等について ～基本構想～（事務局案）

1) 新しい栄中学校整備の考え方

多くの文教施設を有する栄中学校区の特性を活かした学校の整備により、『だれもが幸せなまち 草加』の実現へ！

栄中学校の課題

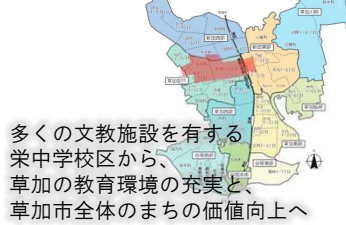
- 1 昭和38年に建設され、雨漏りや配管の漏水が多く老朽化が顕著
- 2 施設の課題解決のためには、学校全体の建て替えが必要
- 3 幼保小中を一貫した教育のさらなる充実

充実強化



価値向上

栄中学校区の特性・価値



栄中学校区が持つポテンシャルを活かした学校整備や先進的な取組を積極的に実践することによりエリアの魅力アップにつなげ、その効果を草加市全体に波及させていく草加の教育の「発信地」となることを、「まちの将来像」として掲げ、『草加の未来につながる学びのまち』となるような、新しい栄中学校を整備します。

2) 改築に係る基本方針

草加市の教育環境のモデルとなるような、先進的な取組を積極的に実践できる学びの場や多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境を整備します。

Vision 1 「みんなとつながる」学校 ～だれ一人取り残されない～

◆“8m×9m”を基本とした広々とした教室空間を検討します。（面積約12%UP）

- ▶インクルーシブ教育のさらなる推進に向けて、特別支援学級教室の設えの工夫や、草加唯一の中学校通級指導教室を他校生徒も使いやすい施設にするために、草加かがやき特別支援学校との連携や対話を実施します。
- ▶タブレット端末の様々な活用法にも対応したゆとりある教室サイズとし、可動間仕切りやロッカーの配置等を工夫することで、多様な学びが可能な、フレキシブルな活用ができる教室空間とします。

Vision 2 「地域とつながる」空間

～幼保小中を一貫した教育のさらなる充実～

◆栄中学校区内にある、幼稚園・保育園・栄小学校・松原小学校・中央図書館・子育て支援センター・miraton・獨協大学・草加かがやき特別支援学校と連携・対話を行い、地域特性を活かした教育環境を整備します。

▶地域の思いを共有する機会となる、栄中学校学校運営協議会・栄中学校区子ども教育連絡協議会等とも意見交換を行います。

Vision 3 「世界とつながる」拠点

～グローバル+ローカル=グローバル～

◆多様な学びに対応できるラーニング・commons(学校図書館)を検討します。

- ▶国際社会の中で活躍できるような、グローバルな視点と地域への深い理解を併せ持つグローバル人材の育成を目指します。
- ▶英語学習に特化した空間や日本語・日本文化を学ぶ教育空間、ALTとのふれあい空間、イングリッシュキャンプ等、多目的な活動空間の整備を検討します。
- ▶国際理解や英語学習等に関する新しい取組や施設について、獨協大学との連携や対話を実施します。
- ▶ふるさと草加学習における調べ学習や、ディスカッション・プレゼンテーションを想定し、探究学習の可能性を広げられるラーニング・commonsの整備を検討し、世界を広げ、自ら学び考える力を習慣化する環境を整えます。



3) 施設整備方針

第四次草加市教育振興基本計画 基本理念 基本目標	草加市学校施設等 長寿寿命化計画 目指すべき姿	R7 栄中学校 グランドデザイン 目指す学校像	栄中学校 施設整備方針
生きる力を共に教える草加の教育	1 一人ひとりを大切にする幼保小中を一貫した教育の推進	誰もが快適に学び、利用できる学校	1-a. 「みんなとつながる」学校 「地域とつながる」空間 ユニバーサルデザインを意識したバリアフリーな施設整備
	2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進	社会の変化に適切した教育活動等が展開できる学校	1-b. 「地域とつながる」空間 「世界とつながる」拠点 ICT教育環境の整備やラーニングcommons(学校図書館)等の検討
	3 教育環境の整備・充実	安全・安心な学校	1-c. 「みんなとつながる」学校 「世界とつながる」拠点 多様な学習を可能とするゆとりある教室等の整備
		一人ひとりかけがえのない存在として大切にされる学校	1-d. 「みんなとつながる」学校 インクルーシブ教育を目指す通級教室等の検討
		生徒が「通いたい」保護者が「通わせたい」学校	1-e. 「みんなとつながる」学校 働き方改革実現のための働きやすい管理諸室の整備
		人権や生命が尊重されお互いを認め合う「いいとこ探し」の学校	2-a. 「地域とつながる」空間 災害時の避難所利用を考慮した施設計画
		環境負荷低減に寄与できる学校	2-b. 「地域とつながる」空間 地域開放を想定した体育施設等の整備と複合化等の検討
			3-a. 「みんなとつながる」学校 「地域とつながる」空間 災害に強く、日々の生活にも安全・安心な施設整備
			3-b. 「みんなとつながる」学校 「世界とつながる」拠点 環境に配慮した健康で快適な施設整備 (ZEB・エコスクール)
			3-c. 「みんなとつながる」学校 「地域とつながる」空間 安全・安心な給食のための自校式給食施設の整備

検討項目

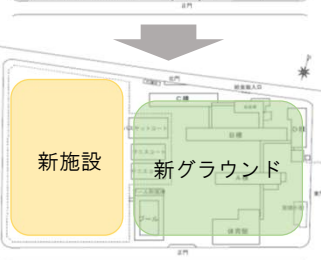
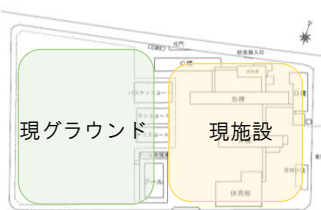
普通教室	・教科書の大型化やタブレット等に対応できるように、ゆとりある広さを確保 ・ “8m×9m” を基本ユニットとして検討 ・ロッカーの配置等を工夫	フレキシブルな複合利用や将来的な転用を想定
特別教室	・必要な教室を確保 ・「探究・協働」様々な活動に対応可能なラーニング・commons(学校図書館)を検討 ・前例にとられないALTのさらなる活用	
通級教室等	・既存と同等以上は整備 ・他校からの通学も考慮して動線等も配慮 ・特別支援学級の増減等についても配慮	
管理諸室	・働きやすい環境を模索し、職員等はエリア分けによるスペースの集約化を検討 ・自校式給食を継続するため給食室を整備	
屋内運動場 武道場	・授業や部活に支障がない広さや設備等を確保 ・一般開放も検討 ・多目的な活用を検討	
グラウンド	・授業や部活に支障がない広さ（設置基準も考慮）や設備等を確保 ・一般開放も検討	
プール	・「水泳授業及びプールの在り方方針」を踏まえて整理 ・民間委託や自校プール等様々な方策を検討	
避難所	・既存と同等以上は整備 ・地震対策だけでなく、水害対策やバリアフリーにも配慮	

仮設計画

学校生活に支障が少ない計画
⇒グラウンドと校舎の配置を**東西逆転**

- ◆現グラウンドに新校舎建設
- ◆仮グラウンド整備
- ◆段階的な引越

令和10年度中の工事着手を目指す



工事順番

- ① プール解体
- ② 仮グラウンド整備
- ③ 校舎建設
- ④ 旧校舎解体
- ⑤ 仮グラウンド再整備
- ⑥ 体育施設建設
- ⑦ 屋内運動場解体
- ⑧ 外構整備
- ⑨ グラウンド整備
- ⑩ 完成